

生薬組み合わせが民間療法との違い

Q 東洋医学、西洋医学、現代医学、伝統医学、漢方、民間療法など種々の言葉が雑誌などに見受けられますが、区別がよくわかりません。その定義や相違点について教えてください。

統医学に限られる。すなわちアラビアのユナニ医学、インドのアーユルベーダ医学、中国伝統医学（中医学）およびそれを受容した日本の漢方などである。

A 東洋医学と西洋医学は地域区分による名称。現代医学と伝統医学は歴史的区分による名称。漢方の「漢」は中国を意味し、「方」は治療方法、従って漢方は「中国由来の治療方法」を指す。民間療法は「伝承されてきた治療法」、と一応は分けられる。

東洋医学は本来、アラビア、インド、アジアを含む広い地域の医学の総称のほずである。しかし、西洋医学が世界中の「標準的」医学となつた今日では地域性を踏まえ、かつ今も残る伝

漢方とは江戸時代にオランダ医学（蘭方）と区別する必要から用いられた。本来、漢方薬を用いる薬物療法だけでなく鍼灸（しんきゅう）などの物理療法も指したが、今日では薬物療法に限定して用い、漢方と鍼灸は分ける。

漢方も民間療法も生薬を用いるので、ハトムギやドクダミなど共通の素材はある。しかし通常、漢方は複数の生薬を組み合わせ、その適応・不適応を明確にしているのに対し、民間療法は通常ゲンノショウコなど単品の経験の伝承であり、経験の普遍化は不十分である。